

センサーの活用法を知る!

センサーはどこに存在し、どのように使われているのか

センサーにはさまざまな種類があり、安価なタイプも登場してきていることから、製造現場での活用例がかなり多くなっています。しかし、センサーを意識して使っているという方は少ないのではないのでしょうか。

そこで今回は、身近な使用例を紐解きながら、これからの産業を支える要素技術であるセンサーへの理解が深まるセミナーを開催します。近年、製造現場への導入が進んでいる産業用ロボットとセンサーの関わりについても解説しますので、奮ってご参加ください。

2019年

12月12日(木)

14:00~16:00

受付開始 13:30

御前崎市文化会館 大研修室 〒437-1622 御前崎市白羽5404-1

■主催: 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構、御前崎市 ■共催: 御前崎市商工会

■対象: センサーについて学びたい方、センサーの導入・活用をお考えの方

参加費
無料
定員 40名

センサーの実用例 14:00~15:00

タイトル

光半導体デバイスの基礎と最新の応用事例

講師

浜松ホトニクス株式会社 固体事業部 営業推進部
製品企画グループ 主任部員

渥美利久氏

講演概要

光電変換機能を有する半導体デバイスは医療診断装置、分析・計測装置といった専門分野だけでなく、日々の生活に欠かせない自動車をはじめ身近な場所にもたくさん使われています。光センシング技術の進化は様々な現場が抱える専門家・人手不足の問題の解決となり、安心・安全な社会の実現にも貢献します。本講演では、各光半導体デバイスの特徴、最新応用事例及び今後の展望を紹介します。

ロボットとセンサーの関わり 15:10~16:00

タイトル

産業用ロボットとセンサーの活用事例

講師

株式会社ヤナギハラメカックス
第二製造部 次長

藤原睦巳氏

講演概要

近年技術の発展が進み、急速に現場への導入が進む産業用ロボットですが、センサーは産業用ロボットを使ったシステムに不可欠で、様々な用途で使われています。本講演では、センサーが産業用ロボットとどのように組み合わせて利用されているかを中心に話します。

参加
申込書

■お申込み締め切り: 2019年 12月5日(木)

■お申込み方法: 申込サイトまたはFAX(下記にご記入)にてお申し込みください。

■申込サイト <https://www.hai.or.jp/pvc/event/191212seminar/> FAX 053-471-2113

■お問合せ: 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 フォトンバレーセンター 担当: 落合、清水 TEL 053-471-2111

企業・団体名			
住所	〒 ー		
所属部署・役職名			参加者氏名
メールアドレス			
TEL			FAX

個人情報保護に関する注意事項

申込書にご記入いただいた個人情報は、主催者の事業等に関する情報や参加者募集の案内等の範囲内で利用または提供いたします。個人情報は取扱目的以外に利用したり、第三者に提供することはありません。



公益財団法人
浜松地域イノベーション推進機構
Hamamatsu Agency for Innovation

御前崎市